

■特定非営利活動法人 天橋作事組

所在地：〒626-0033 京都府宮津市宇宮村 1123

☎050-3649-7655（株式会社大村工務店内）

E-mail：info@tenkyo-sakuji.jp

URL：http://www.tenkyo-sakuji.jp

理事会：理事 6 名（会長・大村利和）

会員数：正会員 26 名（内訳：技術者会員 20、一般会員 6）

年会費：個人会員 3,000 円、団体会員 5,000 円

設立年月日：平成 22（2010）年 2 月（2012.5 月法人化）

●地区の概要及び団体発足の経緯

京都府北部に位置する丹後地域には様々な歴史的遺産と文化が数多く残されています。天の橋立をはじめ、数多くの自然環境はもとより、構造物に関しても古くは縄文時代から弥生時代にかけての数千基にも登る数の古墳群や戦国時代から江戸時代にかけて城下町として構築された寺社建築物群、江戸末期から近代にかけて反映した豪商の建築物など歴史的価値を持つ建築物は数多く存在します。なかでも、宮津市内にある豪商三上家住宅やカトリック教会、今林家、茶六本館や清輝楼など数多くの価値ある伝統木造建築物が存在しています。



図 1 三上家外観(左)と宮津カトリック教会内観(右)

しかしながら、一方では伝統建築技術を担う大工や左官職人も高齢化し、同伝統建築工法を活かせる仕事もなくなり、技術の伝承そのものが非常に困難になっています。天橋作事組は、『自分達の地域の伝統的な建築財産は自分達の手と技術と智恵で保全する』ということ、そして『先人達が残した地域の技と智恵を研究し、次世代の地域の担い手に伝承する』という主旨のもと、“宮津地域の資産である伝統的なまち並みを守り、木造伝統建築技術の知識と智恵を学び、技能者と人を残す”ことにより宮津のまち並み形成の促進と、伝統的で魅力あるまちづくりの推進に寄与することを目的に、地域に根ざす木造建築技術者や研究者、学識経験者や市民賛同者等で組織する団体です。

●主な活動内容

○高校生とのまちなみ（現況建築物）調査

平成 25 年度は宮津市の未来の建築を担う宮津高

校建築科の生徒たちと一緒に、かつて宮津のまちが反映した時代の中心地であった魚屋東地区・島崎地区のまちなみを調査し、データ化するとともに高校生達の思いや将来に対する意見も踏まえた報告書を作成し、桜山長屋の再生活用についての設計出前授業も行いました。

○桜山長屋の再生活用ワークショップ

平成 24 年度に高校生を対象に行った桜山長屋の再生活用をテーマにした設計出前授業を具現化する取組みとして、平成 25 年度はワークショップ形式による再生を行いました。



図 2 壁塗りワークショップ

○その他の主な活動内容（平成 25 年度）

- 宮津与謝地域における耐震フェアにて保全修復に関する市民相談会と木組模型の展示を実施しました。
- 市民を対象とした地域の文化と歴史をテーマとした講演会を開催しました。
- 宮津市域の建築物分布調査を行い、文化的景観を構成する町家を報告書にまとめました。
- 有名近代建築でもある宮津市役所市庁舎の調査及び建築的価値についての講演会を行いました。

●これからの活動の課題等

- 伝統建築物の分布調査により重要構成要素である建築物の詳細調査を実施しデータを作成すること。
- 宮津市のまちなみ景観のあるべき将来像を提言し、市民と一体となったまちなみ形成の活動を推進すること。
- 宮津市市街地はもとより、活動範囲を里山地域や隣接市町村まで拡大し、京都府北部（丹後）地域全体の伝統的建築物の保全に寄与すること。